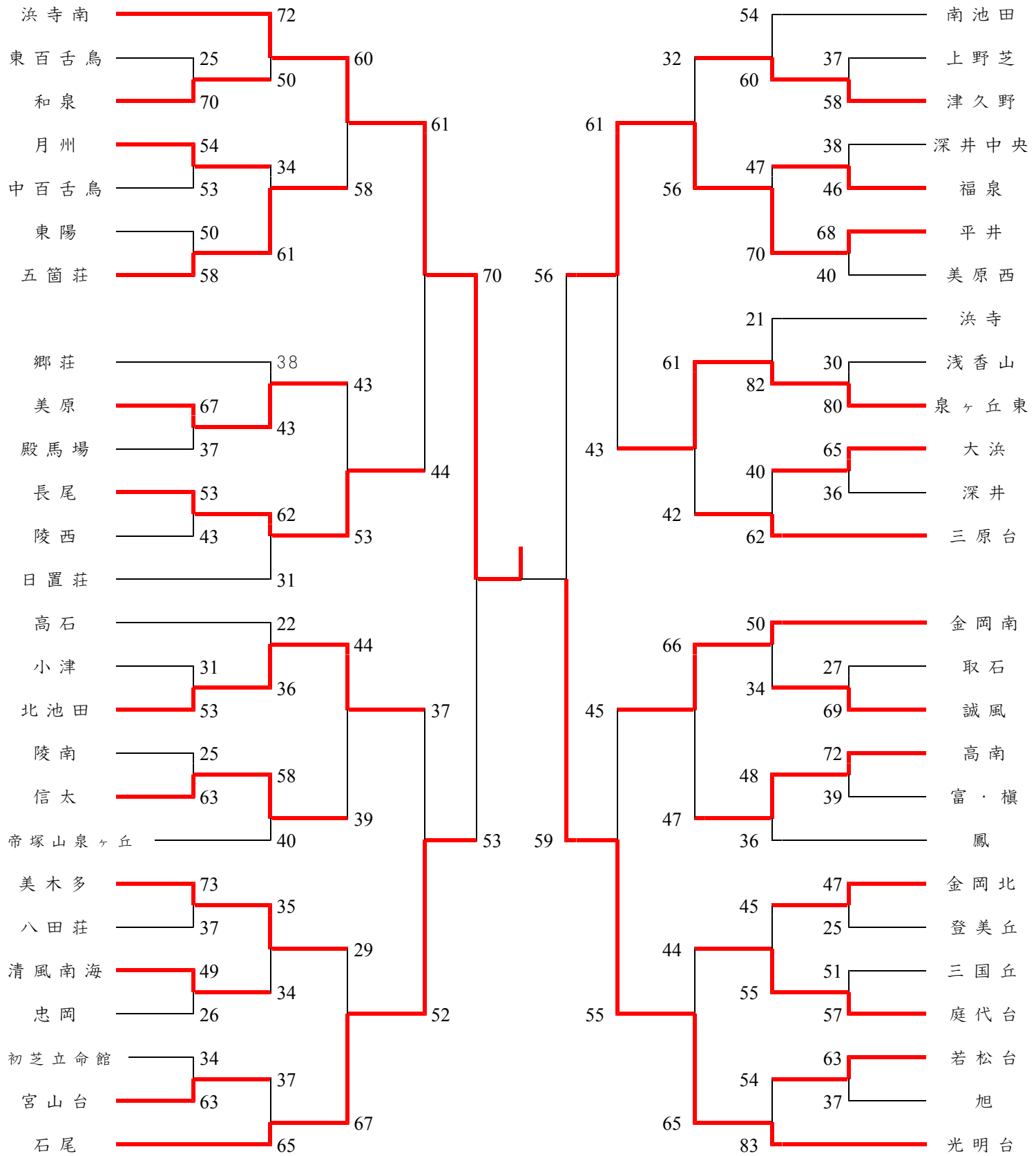


2019年度 泉北地区春季大会

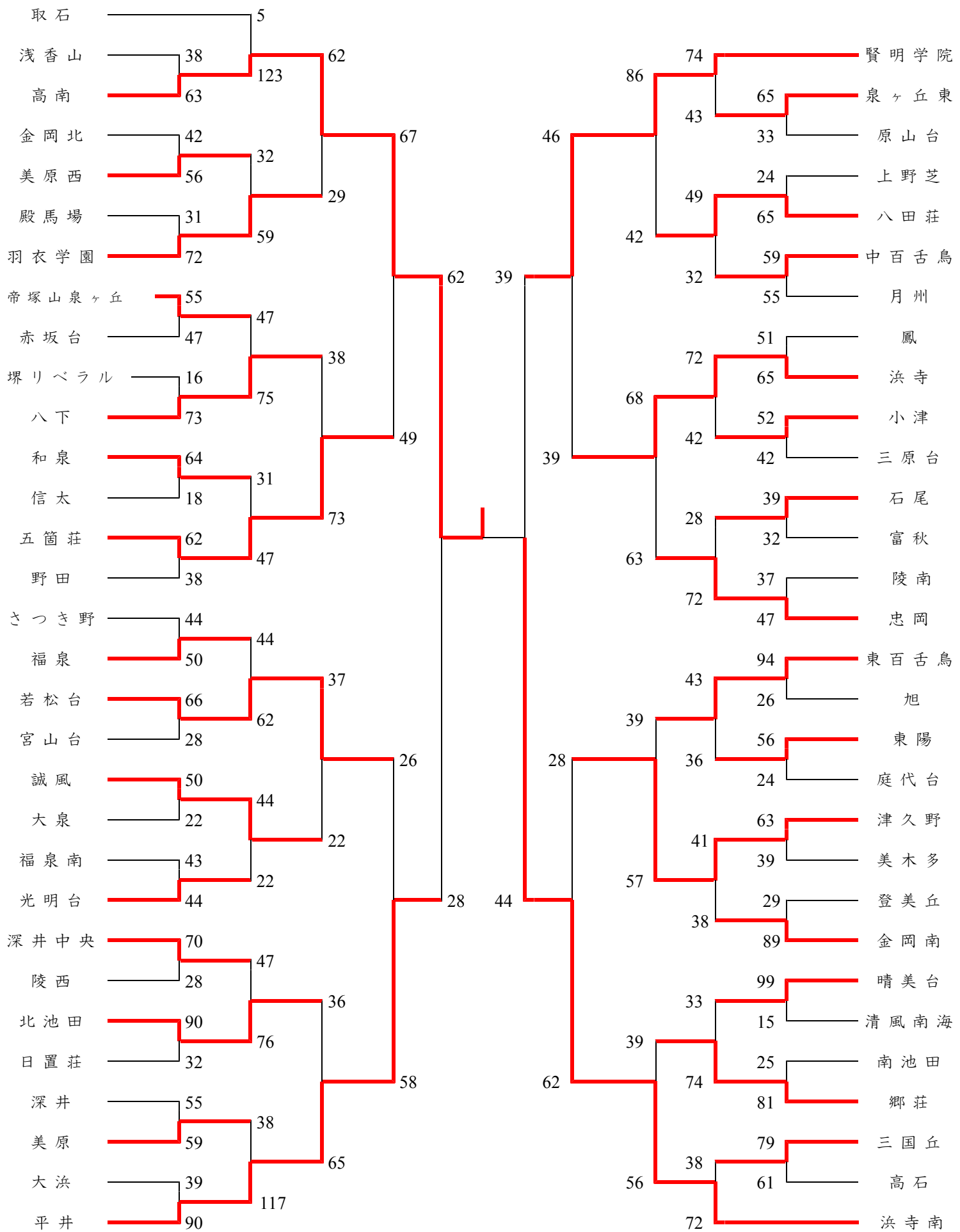
男子の部



| | | 決勝 | |
|----------------|-----|-----|---------|
| Ikuhara Minami | 7 0 | - | 6 7 光明台 |
| | 1 7 | 1 Q | 1 7 |
| | 1 2 | 2 Q | 1 7 |
| | 2 0 | 3 Q | 1 8 |
| | 2 1 | 4 Q | 1 5 |

| | | 3位決定戦 | |
|----|-----|-------|--------|
| 石尾 | 6 1 | - | 8 6 平井 |

女子の部



| | | | | | |
|----|-----|-------|-----|------|--|
| | | 決勝 | | | |
| 高南 | 4 6 | - | 3 5 | 済寺南 | |
| | 1 5 | 1Q | 7 | | |
| | 6 | 2Q | 1 1 | | |
| | 1 4 | 3Q | 7 | | |
| | 1 1 | 4Q | 1 0 | | |
| | | 3位決定戦 | | | |
| 平井 | 6 7 | - | 4 4 | 賢明学院 | |

男子決勝戦評

光明台 4.5.6.7.8、浜寺南 4.5.6.7.9

光明台4の得点でスタート。浜寺南は、5.6中心にオフェンスを組み立てながら、ターンオーバー等で得点を取っていく。光明台は4の積極的なリバウンドで点を重ねていき、1Qは17-17の同点で終了。

2Qは光明台が4.6のドライブやリバウンドからのセカンドチャンスを生かしていく。浜寺南は7の積極的なドライブや4.6も得点を取っていく。浜寺南はディフェンスで光明台のドライブへの対応に苦しむ。2Qは光明台が17-12とリードし、前半、浜寺南29-34光明台で終わる。

前半でリードした光明台は2Qの流れのまま、4.6のドライブ、8のリバウンドからのシュートなどで最大10点差のリードを保つ。一方、浜寺南は6がリバウンドやドライブなどディフェンス、オフェンス両面でチームを引っ張る。3Qは光明台52-49浜寺南で終わる。

4Qは両チーム我慢の展開が続く。開始から2分間両チーム得点のないままであったが、光明台が点数を重ね、残り3分12秒で光明台がタイムアウト。浜寺南がここで巻き返しをはかり、残り1分35秒で浜寺南が4点差まで詰め寄る。光明台は浜寺南6へのディフェンスが対応しきれず浜寺南が逆転する。試合はそのまま浜寺南が逃げきり、浜寺南70-67光明台と泉北1位を守り抜いた。

(北、古田、蔵元)

女子決勝戦評

高南11.12.13.14.17、浜寺南4.5.6.7.8で試合が開始する。

高南が11のドライブからのジャンプシュートで先制しその後も点数を重ねていく。一方浜寺南はリバウンドを諦めず続け点数を取る。しかし、高南12のドライブインで点数を取り続け、浜寺南がたまたまタイムアウトを取る。その後も点差は縮まらず15対9で高南リードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオド、高南はおおきくメンバーチェンジをし、4.5.7.9.15で試合が始まる。浜寺南は7番を起点に点を取り点差を詰めていく。しかし、浜寺南がシュートを決められない場面が続き21対18で高南がリードのまま第2ピリオドを終える。

第3ピリオド、高南は積極的なオフェンスリバウンドで点を取る。浜寺南はセットオフェンスのなかでドライブを狙い点を取りに行く。その中でファールが起り浜寺南はフリースローをしっかりと決めていく。両チーム切り替えがはやくなかなか速攻が決まらない。35対25で第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、浜寺南はセットオフェンスで確実に点数を取りに行こうとするがパスミスなどでうまくゴールまで行けずタイムアウトを取る。速攻などのチャンスもあるがなかなか点が取れない。高南はドライブを中心に点数を取る。浜寺南もディフェンスをしっかりと頑張り粘るが点数は縮まらず46対35で高南が優勝を飾った。

(池谷、門、柿内)